



ねむの木（小野）（撮影 阿部会員）

令和3年 7月号 Vol. 207
(2021年)

発行：令和3年7月28日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊

《春季観光客入込み調査》

行事区分：行事支援

日 時：6月26日（土） 9：00～16：00

場 所：市内拠点4箇所

参加者：各箇所 会員2名（計8名）

今回の調査は、新型コロナの流行が収まらない中で行われました。神奈川県にまん延防止法が適用され、厚木市でも三川合流地点では駐車場が閉鎖されていました。

この為、今回の調査は三川合流地点を除く市内4箇所で実施されました。

広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

厚木市は、まん延防止法延長の中、実状を把握する目的もあり、観光客の調査と地域の案内を行いました。

広沢寺駐車場には県内各地からの車が多く、特に家族連れが目立ちました。

駐車場は、ほぼ満車状態ながら駐車場所がロープで指定されていたため 下の段30台・上の段20台 共に整然と駐車し混乱はありませんでした。

虫取り網を持った人や、魚釣りをする人や、付近をハイキング・散策する人、目の前でカモシカを見たと興奮状態で話してくれた人など皆さんが自然を満喫した様子でした。静かな広沢寺には沢山の小鳥の鳴き声が響き渡っていました。

梅雨の時期ならではの「ヤマビル」の情報も多く、靴に忌避剤をかけたので大丈夫だったとお礼も言っていました。

（森島誠 記）



七沢温泉（盛楽苑駐車場）

温泉利用客の車の通過が主で、他の調査場所と異なり徒歩の方が少なく、毎回アンケート調査に苦慮するのですが、この日はハイキング客がいつもの調査日と比較して多く、中にはこちらからお願いする前に「アンケートを書きましょう」と記入して頂いたハイカーの方もいました。コロナ感染禍の影響でハイキングコースにも変化があったのでしょうか？



「七福神はどこですか？」スマホで調べて七沢荘の敷地内にあることが判り案内しました。「インコのお守りはどこで貰えますか？」と聞かれ首をかしげていると「七沢の神社は？」と聞かれ七沢神社を教えました。その後でスマホで調べると観音寺と判りました。

尋ねた方は単車に乗った初老の男性で、女の子のお孫さんの為に求めに来て、お守りだから神社かな？と思ったのでしょう。

調査が終わってから観音寺を訪ねました。観音寺のオリジナルのお守りで7種類あります。ご住職の奥様がデザインされたそうです。

(寺田・重富記)

七沢森林公園（出会いの広場）

梅雨時にはしては、天候に恵まれ、生い茂る緑と大山から渡ってくる風はとても心地よく思わず深呼吸をするようでした。

コロナによるまん延防止措置が取られている中、人出はどうなのかと気になっていましたが、比較的コンスタントに来訪者がいるので少し驚きもありました。

早い時間には、散歩やジョギングをする年配者が多く、時間が経つと徐々に家族連れが増え、その多くは網と虫かごを持っていました。祖父母とお孫さんと思われる組み合わせも多く、中にはクワガタと沢山のザリガニを捕まえて、誇らしげに見せてくれるおばあちゃんに連れられたお孫さんもありました。

昼頃になると、いつもよりは少ないようですが、バーベキューをする若者や家族連れが目立ち始めました。

お昼を過ぎると、上の駐車場は満杯になったようで、下の駐車場から沢山の荷物を持ったバーベキューのグループが私達の前を通過して行きます。

皆さんすでに駐車場からの上り坂で疲れた様子、私達としては、道順を聞かれても「まだまだ坂が続きますよ」とも言えず、順路を伝え「頑張って下さいね」と声をかけるしかありません。

せめて、荷物だけでも別に運べる手段を公園側で考えてあげれば良いのにと思わずにはいられませんでした。

調査開始から6時間半、長いようで終わってみれば「あっという間」の一日でした。

※ アンケートに対する粗品について

アンケートを書いて頂いても、何のお礼もなかった数年前に比べれば、クリアファイルは特に子供たちに好評ですし良いとは思いますが、ファイルが大きいので、バック等を持っていないお客様にとっては、持ち歩くのには邪魔なようです。

配る場所によっては、小さめのクリアファイル、今なら除菌ウエットティッシュなど粗品にも工夫があると良いのではと、調査員二人の中では意見が一致しました。

(根岸 記)

飯山温泉（中飯山自治会館）

梅雨空ながら時々日も差すまますの天気でしたが、飯山観音に向かう参道は休日にもかかわらず人影もまばらで寂しさの漂う一日でした。

これもコロナ禍の影響かなと思っていましたら、観光協会の方が巡回で来られた時に「森林公園と広沢寺温泉は人が多かったですよ」と言っておられたので、飯山はこの時期見るものがなくて活気がないのかなと感じました。

それでも、道案内をした海老名から来たという若い夫婦の方は、帰りに声を掛けて下さって「飯山観音の紫陽花、綺麗でしたよ」と嬉しそうに話をされました。飯山も、春の桜、秋のざる菊などでは結構な賑わいを見せますが、この時期、紫陽花もPRしてはどうかと思いました。とか言う私はその紫陽花を見ていないわけで、各種行事が中止になって歩く機会が少なくなっても、やはりガイドをする側の人間はこまめに歩かなければいけないと、ちょっぴり反省もしました。以後、気を付けます！



(西出 記)

《秦野の名水さんぽ（湧水めぐり）》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：5月26日（水） 9：30～12：30

場 所：秦野盆地湧水群

参加者：会員1名

コロナ禍の中ですが秦野市はまん延防止法による規制対象外のため、予定の訪問ガイドが実施されました。

秦野市は丹沢山塊、渋沢丘陵に囲まれた自然豊かな動植物に恵まれた盆地です。北側に位置する丹沢の山々に降った雨は砂礫層にしみ込み、その下の凝灰岩層に沿って南に地下を下り十年近くを要し、扇状地の端にあたる南地区の地表に湧き水として噴き出すとの事です。

今回のハイキングは秦野市の南地区の湧水の一部を巡るコースです。9：30 小田急秦野駅改札口前の集合場所で約 10 人の会員が手際よく受付をしていました。

受付で案内資料とおみやげ「おいしい秦野の水（丹沢の雫）」のボトルを戴きました。

参加者は約 17 人ということで 3 班編成となり、私は第 1 班となり、参加者 5 人案内役ガイドが 3 人でした。厚木からは私だけですが、他は横浜、川崎方面の参加者でした。



コースは弘法の湧水→寿徳寺湧水→今泉湧水→まいまいの泉→白笹稻荷神社→ゆずりの水→荒井湧水と 7 か所を巡る約 6 キロのコースでした。

どの場所も綺麗に整備されており気持ちのいい時間でしたが、特に印象に残ったのは、出雲大社相模分祠内のゆずりの水でした、分祠の佇まいも流石に威厳がありましたが、“ゆずりの水”は長い湧水路があり、見事な景観でした。後日また訪問したいと思いました。

ガイドさん 3 人共、慣れた口調での案内で大変解りやすかったです。運営と案内共、我々のガイドの参考にしたいと思います。

久しぶりの訪問ガイドに参加し、大変勉強になりました。秦野の皆様ありがとうございました。

(山下武 記)

最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
6月26日	市内4箇所	春季観光客入込み調査	会員 8名
7月6日	アミューあつぎ	異文化交流サービス説明会	会員 4名
7月10日に予定した定例会・勉強会は中止			

令和3年7月・8月 行事予定

	日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
7月	「最近の活動」欄に記載された以外の活動はありません				
8月	14日(土) 09:30~12:45	定例会・勉強会	アミューあつぎ	定員 30名	サークルスクエア

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。
提出期限は定例会の1週間前（編集会議と印刷のため）

.....<お詫びと訂正>.....

6月号の会報で記事を書いてくださった会員のお名前が誤っていました。また、寺田さんの投稿して下さった記事の図表で文字の欠落が発生していました。投稿いただいた皆さまや会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。6月号記事を以下の通り訂正させていただきます。

1. 「2019年度以降入会の会員紹介」欄の氏名

【誤】成田和夫→【正】成田和男

2. 「鶴戸神宮と古事記 関係図」の文字欠落

・天照大神の項

【誤】天界から地上に降って→【正】天界から地上に降って国を治めなさい

・海幸彦・山幸彦の項

【誤】海幸彦・山幸彦→【正】海幸彦(兄)・山幸彦(弟)

【誤】豊玉姫（サメの化身）海神（ワタツミ）→【正】豊玉姫（サメの化身）海神（ワタツミ）の娘

【誤】子のウガヤフキアエズ→【正】子のウガヤフキアエズの養育を依頼

編 集 後 記

巻頭の写真は小野に育つ、ねむの木です。ねむの木は6月から7月が開花時期といいますので、ちょうど見ごろの季節ということになります。写真のねむの木は宮ヶ瀬に育っていたのですが、ダム建設により湖底に沈んでしまうことを惜しんだ方が小野に移植されたものということです。

日中は広がっている葉が夜になると閉じてしまうことから「ねむ」の木と呼ばれるようになったといわれており、木の高所に咲く花は薄いピンクと白色に彩られた美しいものです。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 前澤 宣子